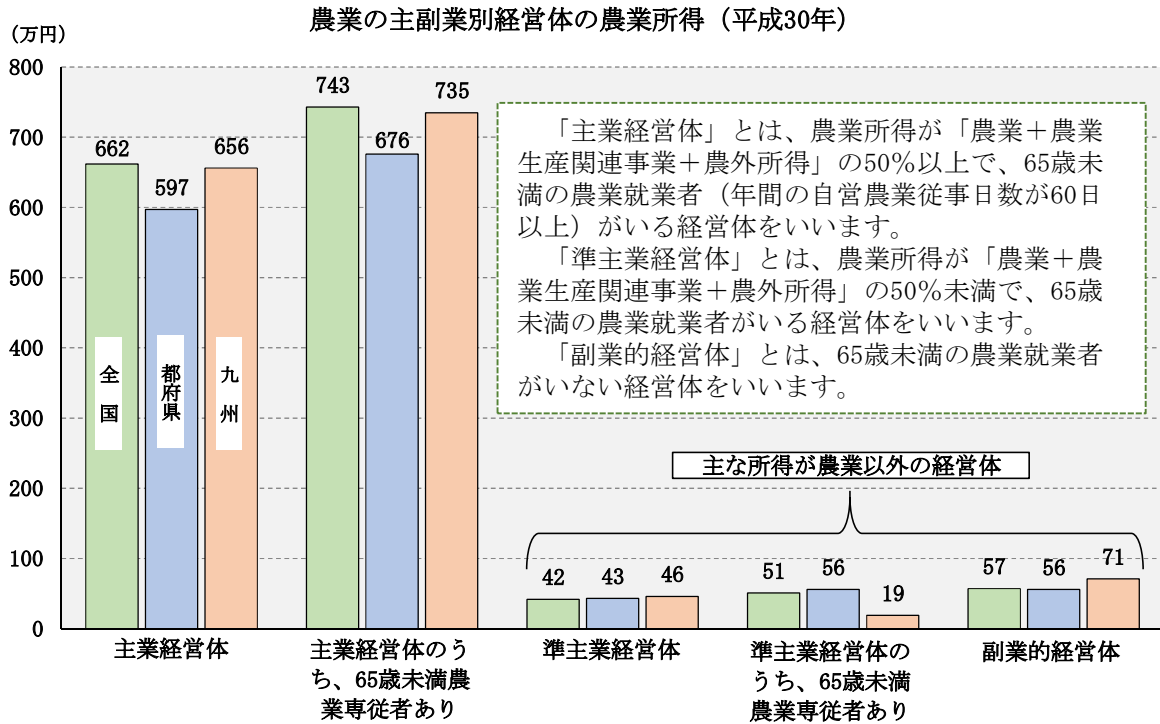


### 3 農業を主とする経営（個別経営）の収益性

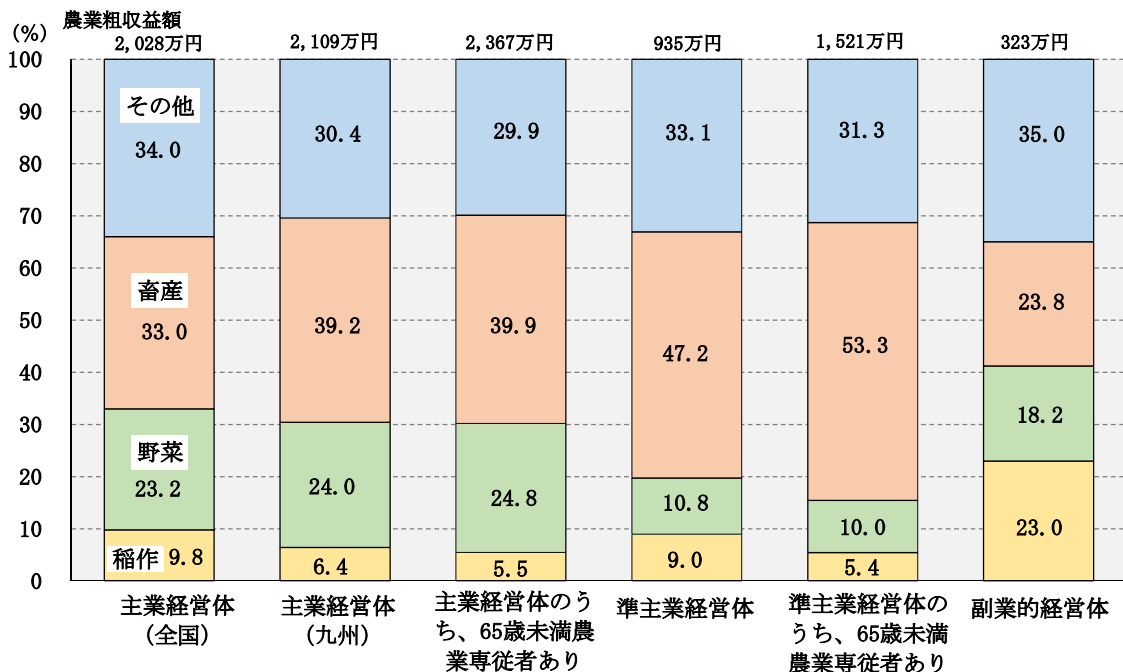
#### (1) 主副業別経営体の農業所得及び農業粗収益

- 九州の農業経営体のうち、農業所得を主な所得源とする主業経営体の農業所得は 656万円。
- 主業経営体のうち、65歳未満の農業専従者（農業に年間 150日以上従事する者）がいる九州の経営体の農業所得は735万円。
- 九州の主業経営体の農業粗収益の構成割合を全国と比べると、畜産、野菜が高く、稲作は低い。



資料：農業経営統計調査（経営形態別経営統計）

#### 農業の主副業別経営体（九州）の農業粗収益構成割合（平成30年）



資料：農業経営統計調査（経営形態別経営統計）

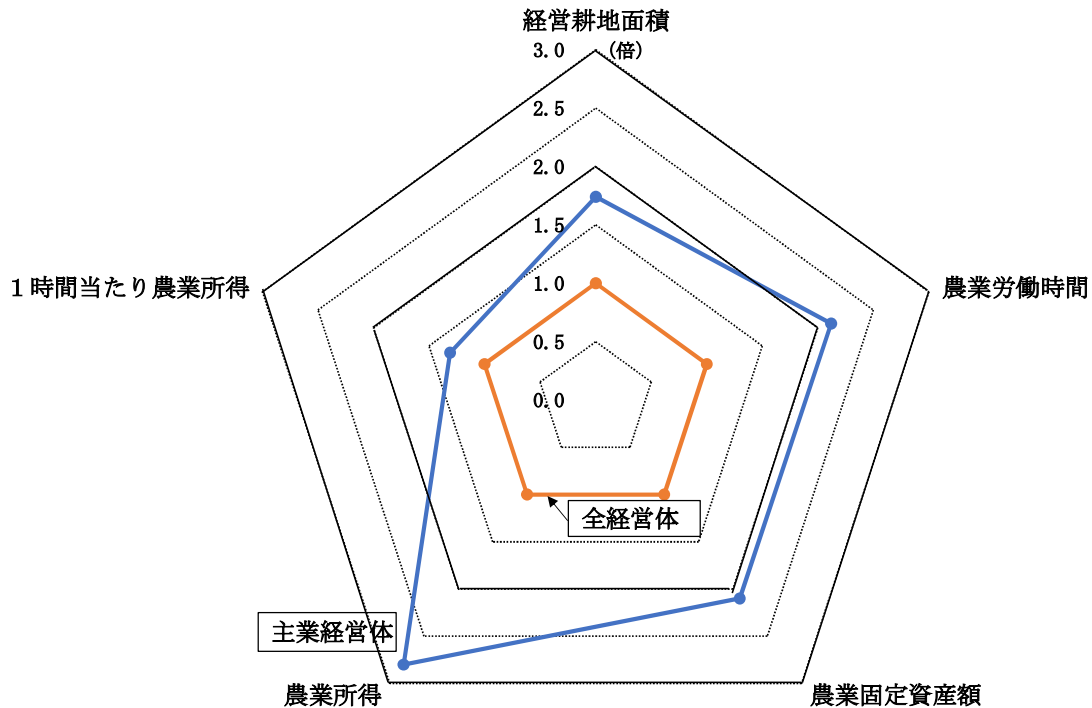
注：四捨五入のため合計値（100%）と内訳の合計が一致しないものがあります。

### 3 農業を主とする経営（個別経営）の収益性

#### (2) 主業経営体平均と全経営体平均との比較

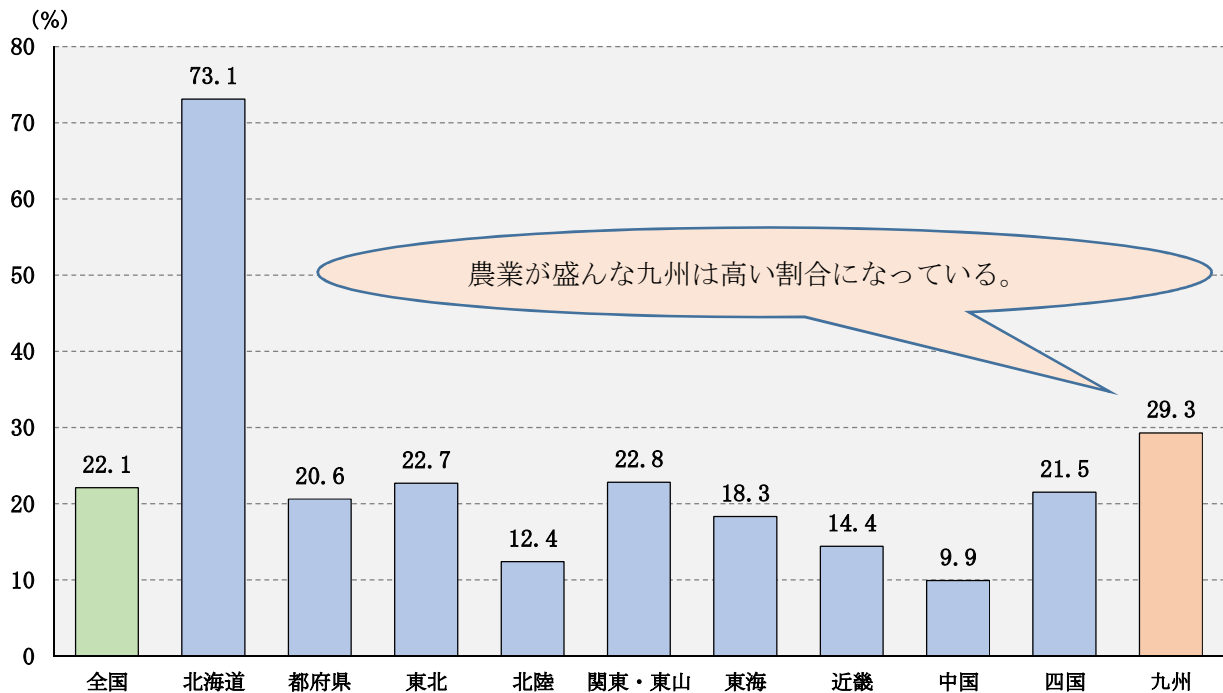
○九州の主業経営体を九州の全農業経営体平均と比べると、経営に約2倍の経営耕地面積、労働時間及び固定資産を投入し、成果として約3倍の農業所得を実現。

主業経営体平均と全経営体平均の経営比較（平成30年・九州）



資料：農業経営統計調査（経営形態別経営統計）

(参考) 農業地域別の主業農家の割合（平成27年）



資料：2015年農林業センサス

注：農林業センサスにおける販売農家に占める主業農家の割合